

# 公立認定こども園に関する説明会

こども課・学校教育課

## 1. 五泉市の子どもと、保育・幼児教育の状況

### (1) 出生数の推移

年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
出生数(人)	360	369	345	332	347	319	306	291	285

※H28は暫定値

#### 【補足説明】

お示ししている平成20年よりも前から、出生数の減少傾向は続いてきましたが、平成25年頃から減少幅が大きくなり、平成27年、平成28年は300人を割り込む状況となっています。

なお、村松地域における出生数は、平成20年は360人中113人、平成28年は285人中74人です。

市では、子育て支援策や若者の定住・移住促進策など、人口減少克服に向けて取り組んでおりますが、人口減少問題、少子化問題は国全体での大きな課題であり、取り組みの成果が出るには時間がかかるため、当面は出生数の減少傾向が続くと思われまます。

### (2) 五泉市内の保育園・幼稚園・認定こども園等の数（平成29年度）

種別	施設数	備 考
保 育 園	15園	公立11園、私立4園（五泉地域10、村松地域5）
幼 稚 園	2園	公立2園（五泉地域1、村松地域1）

認定こども園	2園	私立2園	(五泉地域2、村松地域0)
小規模保育所	1カ所	私立1カ所	(五泉地域1、村松地域0)

**【補足説明】**

上記の認定こども園（私立2園）の内、1園は平成27年度に私立の幼稚園が認定こども園に転換したもの、もう1園は、私立の幼稚園と系列の保育園が統合して認定こども園になったものです。

なお、上記の各施設に入園するためには、子ども・子育て支援法の規定による認定（1号・2号・3号）を受ける必要があります。認定区分の詳細については、添付資料①「認定区分について」をご覧ください。

※「認定区分」は、この後の説明でもたびたび登場するキーワードです。

**(3) 年齢別入園状況（平成22年度・平成29年度）**

種 別	平成22年度							平成29年度						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
保育園	28	134	197	290	273	312	1234	41	160	185	243	262	256	1,147
幼稚園	-	-	-	101	97	104	302	-	-	-	37	28	33	98
認定こども園	-	-	-	-	-	-	-	5	15	23	44	54	59	200
小規模保育所	-	-	-	-	-	-	-	1	3	5	-	-	-	9
合 計	28	134	197	391	370	416	1536	47	178	213	324	344	348	1,454
0~2・3~5	359			1,177				438			1,016			

※H22は保育園4月現在、幼稚園5月現在、H29は各園ともに4月現在

**【補足説明】**

4月に上記の各施設に入園していた子どもの合計数は、子ども全体の数が減っているのに伴って、平成22年度の1,536人から平成29年度の1,454人へと減少していますが、3歳未満の入園者数は増えています。これは、受け皿が増えたということもあるかもしれませんが、共働きの増加など、女性の社会進出が進んだことが大きな要因であると考えています。

また、幼稚園の入園者数が大きく減少しているのは、幼稚園が認定こども園に転換したためでもあります。平成29年の認定こども園の入園者200人の内、幼稚園の対象となる1号認定は95人で、幼稚園の98人との合計193人と平成22年の幼稚園入園者数を比較しても、やはり大きく減少しています。

今後、教育・保育時間の短い幼稚園のニーズは、さらに低くなっていくことが予想されます。

**(4) 保育園・幼稚園等への入所率（平成29年度）**

年齢	全体						
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
園児数	1,454	47	178	213	324	344	348
入所率(%)	75.8	17.0	59.9	67.8	98.2	98.6	99.1

※H29.4月現在

※H29.3月現在では、0歳児は125人、0～2歳の入園者合計は528人です。

**【補足説明】**

3歳以上の子どもは、ほとんどが保育園・幼稚園等の施設に入園しています。また、3歳未満児は、年度途中の入園も多いため、入所率は年度中に上昇していきます。

**(5) 今後のニーズ**

上記(1)～(4)から総合的に判断すると、今後、未満児(0歳～2歳児)の

入所率は増加するものの、出生数の減少により入園者の全体数は減少すると見込まれます。

なお、「五泉市子ども・子育て支援事業計画」の就学前児童数の推計では、平成27年度の1,572人に対し、平成31年度は127人減（8%減）の1,445人と見込んでいます。

## （6）保育園・幼稚園の施設の状況

公立保育園の中には、建築から年数が経ち老朽化が著しいものもあります。一方、公立幼稚園は、施設は比較的新しいものの、園児数の減少により空き教室が目立っている状況です。

五泉市では、少子化が進行する中、地域の意向を尊重しながら、施設の再編を含めて整備計画を検討したいと考えています。

<参考：村松第一保育園と村松幼稚園の状況>

施設名	建築年	認可定員	入園者数
村松第一保育園	昭和49年	120	76
村松幼稚園	平成2年	160	42

※認可定員及び入園者数は、H29.4現在

## 2. 認定こども園とは

### (1) 認定こども園とは

- 幼稚園と保育園の機能を併せ持った施設です。
- 地域における子育て支援を行う機能を備えています。
- 保護者の就労形態や就労の変化にも柔軟に対応することができます。
- 認定こども園には、幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4形態がありますが、全ての機能を有する幼保連携型が主流です。

#### 【補足説明】

現在の状況・・・

**例1)** 幼稚園に入園している子ども（1号認定）の保護者が新たに就労する場合、幼稚園では遅い時間まで預かることができないため、新たに2号認定を受けて、保育園に入園させなければなりません。

**例2)** 保育園に入園している子ども（2号認定）の保護者が仕事を辞めた場合、2号認定が取り消しとなり、保育園を退園しなければならない場合があります。（※1号認定を受けて幼稚園に入園することは可能です。）



認定こども園では・・・

保護者の就労状況が変わった場合など、認定区分の変更により保育時間や保育料は変わりますが、引き続き同じ施設で教育・保育を受けることができます。

※ただし、3歳未満の子どもについては、3号認定が取り消しになった場合は、認定こども園であっても、保育園と同様に退園となります。

### (2) 認定こども園の教育・保育内容

[別添資料参照]

※説明会では、燕市の公立認定こども園のパンフレットを資料として説明しましたが、他市の資料であるため、ホームページへの掲載は省略します。

【補足説明】

1日の流れの概要（例）

- 3号認定の子ども（3歳未満）については、保育園と同じです。
- 1号認定と2号認定の子どもは、登園後、給食を終えるまでは、認定区分に関わらず、同じクラスで、同じ教育・保育を受けます。給食後に認定区分ごとにわかれ、1号認定の子どもは帰りの時間（14:30頃）まで遊びやお帰りの支度をして過ごします。2号認定の子どもはお昼寝をし、その後それぞれ帰りの時間まで、保育園と同じように保育を受けます。

### （3）認定こども園整備の推進

平成24年8月に法整備が行われ、国が乳幼児期の教育・保育の一層の一体的提供の推進の方針を示したことにより、認定こども園の数が増加しています。

＜認定こども園数の推移（全国）＞

年度	合計	内 訳			
		幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型
H25	1,099	595	316	155	33
H26	1,360	720	411	189	40
H27	2,836	1,930	525	328	53
H28	4,001	2,785	682	474	60

※各年度4月1日現在の数

＜五泉市の認定こども園（私立）＞

施設名	開設年月日	形態
五泉いずみこども園	平成27年4月1日	幼保連携型
エービーシー幼稚園	平成29年4月1日	幼保連携型

### 3. 公立認定こども園の整備について（案）

#### （1）方針

入園者数が大きく定員割れしている村松幼稚園と、施設・設備の老朽化が著しい村松第1保育園を統合して、現在の村松幼稚園の場所での認定こども園開設を検討したいと考えています。

#### （2）認定こども園の概要（案）

項目	概要
類型	幼保連携型認定こども園
設置主体	五泉市直営
場所	現在の村松幼稚園の場所で開設する
定員・学級	5歳児 30人（1学級） 4歳児 30人（1学級） 3歳児 30人（2学級） 2歳児 18人 1歳児 15人 0歳児 12人（受入月齢 2か月から） 合計 135人
開園日	平日及び土曜日（2・3号認定のみ） ※1号認定の子どもさんは夏休み等の長期休業があります。
開園時間	午前7時15分から午後7時15分 ※村松地域における子育て支援の基幹施設と位置付け、五泉地域の総合保育園と同じ開園時間とする。

#### 【補足説明】

この案により公立認定こども園を整備することについて、市民の皆さまのご理解が得られた場合、今後検討しなければならない事項が多くあります。

例えば・・・

- 現在の村松幼稚園の施設で認定こども園を開設するためには、施設の増築や改修が必要です。どのように改修するか、また改修工事期間中、村松幼稚園をどのように運営するかの検討が必要です。
- 公立認定こども園は、どのような目標に向かってどのような教育・保育を行うか、「中身」について関係者がしっかり話し合っ  
て決める必要があると考えています。保育園と幼稚園では、年間の行事や使っている教材、給食の内容など、いろいろな「違うこと」があります。それらを洗い出し、保育園に合わせるか幼稚園に合わせるかではなく、認定こども園ではどうあるべきかという視点で検討を進めていく必要があります。